

## 第1回 松原市子ども・子育て会議

日 時	平成26年2月24日(月) 1:00～
場 所	松原市役所3階 301会議室
出 席 者	委員長 副委員長 委 員 松本 慶二 ・ 吉田 敬司 ・ 菊井 智明 ・ 渡邊 純 ・ 中西 利恵 ・ 中山 智恵 ・ 田崎 由佳 ・ 中野 信昭 ・ 芝内 佳世子 ・ 西田 幸子  <敬称略>
事 務 局	松原市 子育て支援課

### 1. 開会

事務局：(あいさつ)

### 2. 市長挨拶

### 3. 委嘱状の交付

(市長より委嘱状の交付)

### 4. 委員紹介

(委員自己紹介)

(事務局紹介)

### 5. 議題

(1) 会長・副会長の選出

(事務局一任により、渡邊委員を会長、中西委員を副会長に選出)

会 長：(あいさつ)

副会長：(あいさつ)

(2) 教育委員会事務局の参加について

事務局：(説明)

(教育委員会事務局参加の承認)

(事務局自己紹介)

(3) 子ども・子育て支援新制度及び子ども・子育て支援事業計画について

事務局：(資料説明)

会 長：事務局からご説明がありましたが、皆様いかがでしょうか。分からないことがあれば聞いてください。

委 員：3番の制度の設立のところで、地域の子ども・子育て支援の充実についてですが、乳児・妊婦に関する事業とありますが、今回地域保健課は入られていないのでしょうか。

事務局：今回、新計画の地域子ども子育て事業については子育て支援拠点事業、一時預り、乳児・家庭健康保健事業等と書いてありますが、等のところには妊婦健診のカテゴリは入っています。今回まだ地域保健課は参加させてもらっていませんが、今後必要であればご参加いただき審議を進めていきたいと思っております。

会 長：他よろしいでしょうか。今ご報告いただいた内容で、またご質問等あれば次回お願いします。それでは次の議題に進めていきたいと思っております。

(4) 子ども・子育て支援事業計画策定までのスケジュール

事務局：(資料説明)

会 長：ご説明いただいたように年度末から来年にかけてご審議いただくスケジュールになっています。これについて、ご意見ご質問はありますでしょうか。それでは次の議題に進めていきたいと思っております。

(5) ニーズ調査結果の報告

事務局：(資料説明)

委員長：いかがでしょうか。

委員：ファミリーサポートセンターという事業がありますが、私と同じ民生委員の方で、登録はしているが一向に来られない。利用状況は悪いのですかといわれますが。

事務局：今おっしゃったのは、援助会員さんになられたが依頼会員さんがみえないということでしょうか。松原市ではサポート事業をしていますが、援助会員さんと依頼会員さんの差というのは、援助会員さんのほうが非常に多くなっています。お手伝い可能な人と依頼をしていただく時間のマッチングの中で手配させていただいています。たまたまだと思いますが、依頼会員さんと援助会員さんがマッチングしなかったのだと考えています。

会長：他よろしいでしょうか。それでは私の方から質問ですが、表の見方で、例えば9ページで平日の定期的な幼稚園・保育所等のサービス利用意向というのですが、一番上の幼稚園、通常の就園時間だけの利用、2番が幼稚園プラス預り保育の利用、回答は複数回答有りですよね。341というのは重なっているという解釈ですか。それとも、正確に理解していたら重ならないはずなので、幼稚園利用者が80%占めているということになりますか。

事務局：今回は、例えば3歳のお子さんだとしたら3歳のお子さんの現状のことを書いてくださいですが、今後の利用意向ですので、例えば2歳のお子さんについて今後保育所を希望されるのか、幼稚園プラス預り保育を利用されるのか様々なサービスの利用方法がありますので、複数回答有りの利用意向ですので重なっていると思って結構だと思います。

会長：ありがとうございます。複数で回答してどうするか迷っていて、複数に丸をつけている可能性がある。それぞれ4割くらいの方がいずれかの形で、2割弱が認定こども園ということの可能性も考えているということになりますか。今後ということで考えると、実際には在園している人はどう回答しているかも不明になりますね。利用していない人だけを調査していますか。

事務局：設問は、就学前調査票の9ページですが、現在サービスを利用している・していないに関わらず、今後どのようなサービスを利用したいかという設問です。現在利用していない人は様々な複数回答が考えられます。

会長：利用状況と利用意向では差があるということですし、サービスを利用している方も引き続き利用するかわからないということになるのか。そうすると8ページの利用状況で、1歳児で定期的に幼稚園を利用している、幼稚園プラス預り保育を利用しているというのがでていますが、これはどう解釈していいのか。

事務局：わかる範囲ではありますが、松原市内の私立幼稚園でここに出ています1歳児の対象というのはあまり耳にしないので。

委員：おそらく、1歳児での未就園児クラスでも1歳児としてではないですが、2歳児対象でも1歳後半とか子どもによっては受け入れるところもあるので、これプラス一時預りを利用している人がいるのでそれではないかと思います。

会長：ありがとうございます。他よろしいでしょうか。

委員：調査結果の育児休暇取得状況について、現状があらわれていると思う。事業主として事業所でも育児休業にばらつきもあり、市の手厚い支援があればよいと思う。育休については現状では事業主として、できることとできないことがあるということを理解してほしい。個人的なコメントである。

副会長：まず就学前の児童の調査は2800件配布されていますが、就学前の児童は誤数ほどのくらいで、就学児童は1000件ですが、何人の中からこの数字なのか、その%を知りたい。

事務局：各年齢で800人ほどが母数と聞いています。2万数千人が未成年です。

副会長：0～6歳の就学前人口5000の中から2800抽出して調査していると。そのうちの約半数が回答していると。そのニーズであるということですね。それと先ほど会長も質問されていましたが、抽出されるにいたったお子さんの現状が把握できるのが問18だけです。そことサービスの利用意向をクロスをかけるとかしないといけないと思います。何を計画にもり込んでいくかの時に、どのニーズを組むのかというときに単純集計の先があると思いますのでクロスを掛けることは重要だと思います。

事務局：先ほど前段にニーズ調査の説明があったと思いますが、今現在、国のワークシートでクロス集計をかける形になっています。委員の要望のクロス項目ができるかを確認し、集計をかけていきたいと思います。

会長：実際にどのようなニーズの人が何を望んでいるかということをはっきりしていかなければみえてこないと思う。どのようなサービスを提供することが公的な役割になるのか、また、育児休業をとりやすい制度にしていくのか、難しい現状の中で公的なサービスでカバーしていくのかということだと思う。

委員：保育園を運営しているが、保育園の現状を分かっていたきたい。実際に保育園幼稚園に通っている人に着目してほしい。現実には土曜日にも仕事を理由に利用している方がいらっしゃるため、アンケートの数字とかけ離れているのではないかと思います。

会長：数字ではなくとも、子育てをしている中で実感していることやご意見はないでしょうか。

委員：実際に長時間預けることができると助かりますが、仕事ができるということで、仕事の時間を延ばしてしまう。私に限ってかと思いますが、職場の人も保育園で預かってくれるのでしょうかといわれてしまうので、時間を切ってもらえる方が仕事上で子どもがいるから帰りやすいのはあるかと。女性だから早く帰れるだろうといわれますが、男女の差は関係ないので。

会長：ありがとうございます。芝内委員などいかがでしょうか。

委員：小学校にあがっても、低学年の間は学校が終わる時間も早く、学童保育に預けてまではと考えるとそこまでの仕事しかできない。学童保育に預けても17時までであり、暗い中を帰っている子どもをみると、子どもにそこまではさせられないと思うと、子育てしながらだと仕事を選んでしまう。

委員：うちは病院事業をしているので、相談が沢山ありますが、例えば支援サービスというのも小児救急について、現実には受け入れが難しく、充実が必要だと思います。その反面、どの程度が小児救急として含まれるのか、例えば熱が上がったからすぐ救急車を呼ぶのではなく、母親の学びが必要であると思います。あと育児休暇ですが、だいたい1年～長くて1年半です。今年も1歳児の4月からの入園は7人枠に17人もいて、多くて難しいという話しを聞きました。待機児童が0になっているのはなぜかと思っていたら、遠くの園が空いているといわれても行けないので断っても、それは待機児童数に入らない。希望する保育園に行けない人も待機児童から外れるのか。学童保育は17時からの延長保育のニーズが少ないのではなく、17

時過ぎたらお迎えが必要という条件から、迎えに行けないので延長保育を選択できないお母さん達がいる。

事務局：今回は、本日は子ども子育て会議の1回目ということですので、法の趣旨や概要等の説明とともに、これからについてのお願いをする会だと捉えていただきたいと思います。今後、決めていくべき議題に関しては、事務局でその都度資料を用意するため、またご意見をお願いしたいと思います。

会 長：よろしいでしょうか。考えていく上でのベースとなるニーズ調査であるため、充分理解していただき、疑問点などのご意見をいただくことはとても重要なことであると思います。

副会長：概要版なのでまだ集計できていないところもあるかと思いますが、1点だけ、幼稚園の預かり保育は進んでいますか。私立はされていますか。

委 員：進んでいると思います。時間はマチマチだと思いますが。

副会長：公立はどうですか。

事務局：公立では17時30分まで預かり保育をしています。さらに来年度から統合する四つ葉幼稚園では、早朝の預かり保育を実施する予定です。

会 長：皆様それぞれご意見をいただきましたが、最後に総括的にご意見をいただきたい。

委 員：アンケートでは、クロスでより鮮明に現状が出てくるため、次回クロス集計を含めて、議論ができる資料作りをやっていきたいと思います。

会 長：よろしいでしょうか。その他の項目は何かありますか。

(6) その他

(特になし)

事務局：(日程等、事務連絡)

6. 閉会